



MylogStar Cloud Limitation List

■ 制限事項リスト

目次

1. はじめにお読みください	4
1.1 このドキュメントについて	4
2. MylogStar Cloud 製品全般について	7
3. MylogStar Server	11
3.1 MylogStar Serverとデータベース	11
3.2 メール送信機能	12
3.3 アーカイブ	12
3.4 アラート機能	13
3.5 ログ連携ライブラリ	13
4. MylogStar Agent	15
4.1 コンピューターログ	15
4.2 ユーザーログ	15
4.3 スクリーンショットログ	16
4.4 アプリケーションログ	17
4.5 ファイルログ	18
4.6 プリンターログ	20
4.7 ウィンドウログ	23
4.8 クリップボードログ	24
4.9 Webログ	24
4.10 Eメールログ	25
4.11 イベントログ	28
4.12 インベントリーログ	28
4.13 ステータスログ	28
4.14 通信系ログ共通	29
4.15 ネットワーク関連	31
4.16 デバイス制御	32
4.17 アクセス制御	32
4.18 パス情報について	33
4.19 ウイルス対策ソフトとの競合について	33
4.20 メッセージ通知	34
4.21 リアルタイムアラート	34
5. MylogStar Console	36

5.1 共通	36
5.2 検索	36
5.3 Consoleログ	37
5.4 設定	37
5.5 分析	38
6. 旧製品からの移行について	40
6.1 共通	40
6.2 MylogStar Server	40
6.3 MylogStar Agent	40
6.4 データベース移行ウィザード	41
7. MylogStar WorkRadar	43
7.1 共通	43
7.2 出退勤管理	43
7.3 ユーザー管理	44
7.4 カレンダー管理	44
7.5 タスク管理	44
7.6 印刷分析	44
8. MylogStar Desktop / ServerAudit	47
8.1 インストール、アンインストール	47
8.2 Standalone Console	48
8.3 ログ管理設定	48
8.4 Standalone Manager	49
9. その他の制限事項	51
9.1 検索	51
9.2 インストール、アンインストール	51

1. はじめにお読みください

MylogStar Cloud 製品を使用する前に、以下の項目について内容をご確認ください。

1.1 このドキュメントについて

本書の目的

このドキュメントは、「制限事項リスト」です。MylogStar Cloud 製品の使用上において、特定条件下で仕様を満たせない場合や動作保証対象外となる場合を制限事項として説明しています。

表記について

- Microsoft(R) Windows Server(R) 2012 Standard、Microsoft(R) Windows Server (R) 2012 Datacenterおよび、Microsoft(R) Windows Server(R) 2012 Essentialsは、「Windows Server 2012」と表記しています。
- Microsoft(R) Windows(R) 8.1、Microsoft(R) Windows(R) 8.1 Proおよび、Microsoft (R) Windows(R) 8.1 Enterpriseは、「Windows 8.1」と表記しています。
- Microsoft(R) Windows Server(R) 2012 R2 Standard、Microsoft(R) Windows Server(R) 2012 R2 Datacenterおよび、Microsoft(R) Windows Server(R) 2012 R2 Essentialsは、「Windows Server 2012 R2」と表記しています。
- Microsoft(R) Windows(R) 10 Home、Microsoft(R) Windows(R) 10 Proおよび、Microsoft(R) Windows(R) 10 Enterpriseは、「Windows 10」と表記しています。
- Microsoft(R) Windows(R) 11 Home、Microsoft(R) Windows(R) 11 Proおよび、Microsoft(R) Windows(R) 11 Enterpriseは、「Windows 11」と表記しています。
- Microsoft(R) Windows Server(R) 2016 Standard、Microsoft(R) Windows Server (R) 2016 Datacenterおよび、Microsoft(R) Windows Server(R) 2016 Essentialsは、「Windows Server 2016」と表記しています。
- Microsoft(R) Windows Server(R) 2019 Standard、Microsoft(R) Windows Server (R) 2019 Datacenterおよび、Microsoft(R) Windows Server(R) 2019 Essentialsは、「Windows Server 2019」と表記しています。
- Microsoft(R) Windows Server(R) 2022 Standard、Microsoft(R) Windows Server (R) 2022 Datacenterおよび、Microsoft(R) Windows Server(R) 2022 Essentialsは、「Windows Server 2022」と表記しています。

- Microsoft(R) Windows Server(R) 2025 Standard、Microsoft(R) Windows Server (R) 2025 Datacenterおよび、Microsoft(R) Windows Server(R) 2025 Essentialsは、「Windows Server 2025」と表記しています。
- Microsoft(R) SQL Server(R) 2014およびMicrosoft(R) SQL Server(R) 2014 Expressは、「SQL Server 2014」または「SQL Server」と表記しています。
- Microsoft(R) SQL Server(R) 2019およびMicrosoft(R) SQL Server(R) 2019 Expressは、「SQL Server 2019」または「SQL Server」と表記しています。
- Microsoft(R) SQL Server(R) 2022およびMicrosoft(R) SQL Server(R) 2022 Expressは、「SQL Server 2022」または「SQL Server」と表記しています。
- Microsoft(R) SQL Server(R) Management Studioは、「SQL Server Management Studio」と表記しています。
- Microsoft(R) Internet Information Servicesは「IIS」と表記しています。
- Microsoft(R) .NET Frameworkは「.NET Framework」と表記しています。
- Microsoft(R) Officeは「Office」と表記しています。
- Microsoft(R) Excel(R)は「Excel」と表記しています。
- Microsoft(R) PowerPoint(R)は「PowerPoint」と表記しています。
- Microsoft(R) Wordは「Word」と表記しています。

商標について

- Microsoft、Windows、SQL Server、Internet Explorer、Microsoft Edge、Internet Information Services、Active Directory、Office、Microsoft 365、Excel、PowerPoint、Wordは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- Intel、Celeron、Pentium、Xeonは、米国およびその他の国におけるインテルコーポレーションまたはその子会社の商標または登録商標です。
- MongoDBは、MongoDB Inc.の登録商標です。
- Google、Google Chrome、Google Authenticatorは、Google LLCの商標または登録商標です。
- Microsoft Corporationのガイドラインに従って画面写真を使用しています。
- その他の製品名、会社名は、一般的に各社の商標または登録商標です。

著作権などについて

本マニュアルは、使用許諾契約に基づいて提供されるものであり、当該使用許諾契約の契約条件に従ってのみ使用または複製することが可能です。

当該使用許諾契約により許可されている場合を除き、本マニュアルのいかなる部分といえども、株式会社ラネクシーからの事前の書面による許可なしに、機械的、電子的、録音、その他いかなる手段や形式であれ、複製、配布(頒布、送信を含む)または表示(上映を含む)を行うことはできません。

本マニュアルの内容は、著作権法により保護されております。

本マニュアルの記載内容はお客様の手引きを目的とし、あくまでも参照用としてのみ使用されること、また、なんら予告なしに変更されることを条件として提供されるものです。

したがって、株式会社ラネクシーは当該情報が明示的であるか黙示的であるかを問わず、当該情報の責任ないし保証をここに明示的に排除します。

2026年3月

2. MylogStar Cloud 製品全般について

管理番号	登録日	制限事項
P-0001	2013/10/01	簡易ユーザー切り替え機能利用時の動作を保証しておりません。
P-0002	2013/10/01	MylogStar ServerとMylogStar Consoleのロケールは、同じ地域(タイムゾーン)にしておく必要があります。
P-0003	2013/10/01	MylogStar製品のインストール/アンインストール中にコンピューターの電源を切らないでください。正常にインストール/アンインストールが完了しない場合があります。
P-0004	2013/10/01	OSのアップグレードを行う場合、MylogStar各製品を再インストールする必要があります。 例)次のような場合が該当します ・ Windows 8.1 から Windows 10へのアップグレード
P-0005	2013/10/01	MylogStar AgentをインストールしたコンピューターにおいてFTPを実行した場合、小さなファイルを大量にアップロード、もしくはダウンロードした際に、最大で約1.5倍の処理時間の遅延が発生します。
P-0007	2013/10/31	MylogStar Agentをインストールしたコンピューターにおいて、大量のファイルをコピーした際に、MylogStar Agentの処理に起因して一時的にメモリ使用量が増加する場合があります。なお、増加したメモリ使用量は時間経過とともに、元の状態に戻ります。
P-0009	2013/10/01	MylogStar (Relay) ServerがMylogStar Agentをインストールしたコンピューターと3030/tcpで接続できる環境が必要です。ポート番号はインストール時に変更可能です。
P-0207	2014/06/18	次のすべての条件に一致した場合、暗号化キーが変更され、再インストール前の未送信ログ、およびポリシー情報を処理することができなくなります。 ① MylogStar Agent を再インストールした場合 ② 再インストールのとき、OSを再インストールした、VDI環境などでマスターイメージをMylogStar Agent初回インストール前に初期化したなどの操作によりレジストリが初期化された場合 ③ MylogStar の評価版から製品版への移行やバージョンアップ等でプロダクトキーが変更された場合
P-0290	2015/04/07	仮想環境上にMylogStar Agent製品を導入し、「終了時ログ転送方式」にて操作ログを回収する構成の場合、グループポリシーによるログオフスクリプト、ならびにシャットダウンスクリプトが正常に実行されない環境では操作ログの欠損が発生する可能性があります。
P-0299	2015/06/15	ログとして取得する際に必要なOSの情報が正しく取得できない場合は、正しくログが生成できない場合があります。 【確認済みの事象】 ① アプリケーションの情報が、ログを生成する時点で正しく取得されなかった場合、操作ログ内の「ユーザー名」や「アプリケーション名」が実際の操作とは異なる場合がある
P-0319	2015/08/25	マルチバイトのユーザー名(全角文字などのユーザー名)の場合、Firefoxで通信が暗号化

管理番号	登録日	制限事項
		されたWebサイトにアクセスした際、証明書のエラーが発生する場合があります。
P-0338	2016/03/12	MylogStar AgentはLayered Service Provider(LSP)に関する制限事項を持つアプリケーションと干渉する場合があります。干渉が疑われる場合、ポリシー設定よりそのアプリケーションを通信監視の対象から除外してください。
P-0365	2017/03/09	HTTP/2プロトコルに対応したWebサイトの参照において、使用するWebブラウザに対してMylogStar Agentにて暗号化通信を監視するポリシーが適用されている場合、HTTP/1.1プロトコルを使用して通信が行われます。
P-4006	2018/01/14	Windows10の「共有PCモード」など複数人が一時的にPCを利用することを想定したモードにより、サインアウト後にプロファイルを自動削除したり、ローカルドライブに保存させないよう制限したりするなどの機能を有効化された環境の場合、取得された操作ログが欠損するなどの問題が発生する場合があります。
P-4022	2018/04/17	MylogStar (Relay) Serverがインストールされたサーバーにおいて、「WMI Performance Adaptor」サービスの起動と停止が繰り返し行われ、その内容がWindowsイベントログに記録される場合があります。これは、MylogStar (Relay) Serverが状況を監視するために必要な処理であり、異常ではありません。
P-4027	2018/04/02	サーバー共有型SBC環境などの1台のサーバーを複数のユーザーが利用する環境においては、MylogStar (Relay) ServerがMylogStar Agentへポリシーを配信する処理に多くのCPUリソースを消費する場合があります。この場合、「共通設定」より優先するポリシー適用先を「コンピューター」に変更し、コンピューター単位でのポリシー割り当てにすることで負荷が低減されます。
P-4031	2018/04/10	動作確認などでスペックが低い端末にMylogStar Serverをインストールした場合、サービスの起動がタイムアウトすることにより、SQL Serverサービス、および、MylogStar Server関連サービスが起動できない場合があります。この場合、サービスのタイムアウト時間を延長することで回避が可能です。 ※サービスのタイムアウト時間を延長する方法は以下のMylogStar 4 FAQサイトをご参照ください。 https://www.runexy.co.jp/support/faq/mylogstar/68000002952
P-4034	2018/04/17	Windowsの証明書ストアではなく、独自の証明書ストアを使用するWebブラウザを暗号化通信の監視対象とした場合、該当するWebブラウザにてHTTPSのWebサイトを閲覧した際に証明書のエラー画面が表示される場合があります。
P-4046	2018/06/13	スクリーンセーバーの表示により、ユーザーによる操作が行われていないアプリケーションに対してアクティブ時間が加算される場合があります。これは、OSにて最前面に存在すると認識されたアプリケーションに対して「アクティブ時間」の加算を行う仕様によるものです。この場合、該当アプリケーションへの操作終了からポリシー設定にて設定された「アイドル判定時間」に達した時点でアクティブ時間の加算が終了します。
P-4047	2018/06/13	Windowsの新規インストール時にMicrosoftアカウントを使用してWindowsにログオンした場合、正常に操作ログが取得されません。なお、Windowsの新規インストール時にはローカルアカウントを使用し、インストール完了後にMicrosoftアカウントを使用してWindowsに

管理番号	登録日	制限事項
		ログオンした場合には当事象は発生しません。
P-4052	2018/08/29	Microsoft Store アプリケーション「Microsoft リモート デスクトップ」もしくはMac App Store にて配信されている「Microsoft Remote Desktop」を利用して MylogStar Agent がインストールされた環境にリモート接続を行った場合、取得された操作ログの「リモート接続元ホスト」はFQDN(例 :COMPUTER.aaa.co.jp)で取得され、「リモート接続元IPアドレス」は取得されません。なお、アプリケーションフィルターより「Microsoft リモート デスクトップ」の起動禁止設定は行えます。
P-4054	2018/09/14	操作ログの項目「リモート接続元ホスト」と「リモート接続元IPアドレス」は、リモート接続が行われた際にOSもしくは仮想デスクトップ製品より情報を取得します。これらにリモート接続元情報を取得する際に必要な情報が設定されていない場合は、リモート接続元情報が正しく取得できません。 【確認済みの事象】 ・Windowsシステムがバックグラウンドで行った操作 ・リモート接続の直後に行われた操作 ・「管理者として実行」によりユーザーを切り替えた後の操作
P-4078	2019/06/21	インストールやアンインストール中にWindows Update関連の処理が行われた場合、Windows Update関連の処理が完了するまでMylogStarのインストールやアンインストールが保留状態となり処理に時間がかかる場合があります。Windows Update関連の処理が完了するまでお待ちください。
P-4079	2019/06/21	評価版の試用期間はメジャーバージョンアップ後であっても引き継がれます。例として、MylogStar 3 Desktop 評価版をインストール後に31日が経過したOSにて、MylogStar 4 Desktop 評価版をインストールした際には試用期限切れのメッセージが表示され、該当コンピューターの監視動作は行われません。
P-4080	2019/06/21	MylogStar 3以前の製品からMylogStar 4製品にバージョンアップする場合、バージョンアップ可能なリビジョンは「MylogStar 3 Release5以降」となります。 対象のバージョンアップは次のとおりです。 ・MylogStar 3 Network から MylogStar 4 Enterprise へのバージョンアップ ・MylogStar 3 Desktop から MylogStar 4 Desktop へのバージョンアップ ・MylogStar FileServer から MylogStar Cloud ServerAudit へのバージョンアップ
P-4107	2021/03/04	16文字以上のコンピューター名を設定している環境で MylogStar を運用した際、取得される操作ログの一部においてコンピューター名が先頭15文字までとなる場合があります。
P-4111	2024/01/30	キオスクモード利用時の動作を保証しておりません。
P-4115	2025/11/18	MylogStar Agent for Serverは、複数ユーザーが同時にログオンするマルチセッション環境(例 :リモートデスクトップサービスのセッションホスト、RemoteApp など)のログ取得には対応していません。

3. MylogStar Server

3.1 MylogStar Serverとデータベース

管理番号	登録日	制限事項
P-0010	2013/10/01	MylogStar Serverは、ドメインコントローラにインストールすることはできません。これは、ドメインコントローラにSQL Serverをインストールするとセキュリティ上の問題が発生する可能性があるためです。
P-0011	2013/10/01	SQL Serverのサービスは、データベースフォルダーにアクセスできるユーザーで動作している必要があります。また、作成されたデータベースファイルは、SQL Serverのサービスの実行ユーザーで作成されているため、実行ユーザーによってはデータベースファイルをコピー、移動、削除できない場合があります。
P-0012	2013/10/01	SQL Serverのインストール時、パスワード入力欄にカーソルを移動すると、強制的に日本語入力状態になります。本現象は、Windows Installer 3.1以前が動作している端末において発生します。
P-0329	2016/02/10	MylogStarが使用するSQL Serverのインスタンス名として指定可能な文字は半角英数字(大文字小文字を区別しない)およびアンダースコア(_)のみであり、次の要件を満たす必要があります。 ① 16文字以内の半角英数字およびアンダースコアで構成されていること ② 先頭に数字を使用していないこと ③ 先頭および末尾にアンダースコアを使用していないこと ④ 予約済みキーワードまたは将来のキーワードを使用していないこと
P-0333	2016/02/26	SQL Serverの[SA]ユーザーのパスワードに以下の記号は使用できません。 ① ["](ダブルクォート) ② ['](シングルクォート) ③ [;](セミコロン) ④ [\](円記号)
P-4060	2018/10/30	MylogStar 4 Release2 Agentが取得した操作ログを、MylogStar 4 Release1 (Relay) Serverにて受信した場合、操作ログ項目定義の不一致により問題が発生する場合があります。MylogStar 4 のリビジョンアップを行う際は、マニュアルに記載された手順にて行ってください。 ※ 先にMylogStar (Relay) Serverのアップデート → 次にMylogStar Agent製品のアップデートという手順となります。 【確認済みの事象】 ・MylogStar Agentが取得したアクションログがログデータベースに登録されない。 この場合、MylogStar ServerをMylogStar 4 Release2にアップデートした後に手動にてログファイルをログ登録フォルダーに移動することでログ登録は可能であり、ログの欠損は発生

管理番号	登録日	制限事項
		<p>しません。また、アクションログ以外のログ種別についてログ登録されない問題は発生しません。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Eメールログとスクリーンショットログにおいて「リモート接続元ホスト」と「リモート接続元IPアドレス」の情報が失われる。 ・Eメールログとスクリーンショットログ以外の各ログにおいて、「リモート接続元ホスト」と「リモート接続元IPアドレス」の情報が表示されない。 <p>ただし、MylogStar ServerをRelease2へアップデートした後にアーカイブの展開を行うと表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アーカイブの展開を行った際にステータスログに「MylogStar3マスターデータが存在しませんでした。」という内容でエラーが出力される。 <p>ただし、エラーは出力されますがアーカイブの展開処理への影響はありません。</p>
P-4062	2018/11/29	<p>ログデータベースを格納するドライブが著しく断片化していた場合、Windowsのファイルシステム(NTFS)が管理するデータ属性情報が上限に達した結果、ログデータベースが停止し、ログの登録や閲覧ができなくなります。ログデータベースを格納するドライブ構成への要件についてはMylogStar導入時の容量試算において指定されたドライブレーン分離等のハードウェア構成を守るようにしてください。</p>
P-4095	2019/12/09	<p>MylogStar Serverのアップデート時に行われるデータベース更新処理は、OSの再起動や更新処理中の画面を閉じる等の操作を行うと中断されます。更新処理が完了する前に中断した場合にはデータベース更新処理を改めて実行していただく必要があります。データベース更新処理の手順はマニュアル「アップデートガイド」に記載しております。</p>

3.2 メール送信機能

管理番号	登録日	制限事項
P-0013	2013/10/01	MylogStar Serverのメール送信機能は、POP before SMTPには対応していません。

3.3 アーカイブ

管理番号	登録日	制限事項
P-0135	2014/05/27	インベントリーログにおけるMylogStar Serverのアーカイブ機能は、インベントリー履歴のみアーカイブ対象となります。

3.4 アラート機能

管理番号	登録日	制限事項
P-0148	2014/05/27	インベントリログはアラートの対象外となります。

3.5 ログ連携ライブラリ

管理番号	登録日	制限事項
P-4056	2018/10/02	<p>「サポートセンターのご案内」に記載しておりますように、サポートセンターにて以下のような内容のお問い合わせには回答できかねます。</p> <p>【回答できない内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お客様環境ならびにお客様による開発プログラムについてのコンサルテーションやカスタマイズ、ユーザープログラムやスクリプト等の作成など。 ・弊社が提供を依頼した調査用サンプルプログラムを除く、お客様が開発されたプログラムコードのデバッグ、調査、修正。 ・再現性、手順が明確になっていないパフォーマンスに関するお問い合わせ。
P-4064	2018/12/12	<p>連携ライブラリにて出力された内容とMylogStar Consoleにて閲覧できる内容では一部異なる場合があります。これは、アーカイブファイルを情報元として出力する連携ライブラリの仕様によるものです。</p> <p>【確認済みの事象】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・MylogStar Agentが1つの操作で重複した操作ログを生成した場合にMylogStar Consoleと比較して操作ログの件数が一致しない場合がある。 重複した操作ログが生成されるケースとしては、強制的なコンピューターの電源断等による操作ログの復元処理などがあります。 ・ユーザー名がsystemのユーザーログが出力される場合がある <p>Windowsのサービス起動などで利用される専用のビルトイン・アカウントのログとなります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Webログのアクションが「GET」、「POST」、「HEAD」、「TRACE」以外についても出力される場合がある <p>出力される可能性があるアクションは以下のとおりです。</p> <p>「PUT」、「DELETE」、「CONNECT」、「OPTIONS」、「LINK」、「UNLINK」</p>
P-4065	2018/12/13	<p>MylogStar Relay Serverにて連携ライブラリを使用する場合は、暗号化されたデータベース接続情報を復号化する為の情報が格納された「RSA キー コンテナ」に権限を付与する必要があります。権限を付与する手順についてはマニュアル「統合ログ管理製品 連携ライブラリマニュアル」に記載しております。</p>
P-4067	2018/12/14	<p>連携ライブラリにて出力対象となる操作ログはMylogStar 4 Release1以降のバージョンにて生成されたアーカイブファイルが対象となります。MylogStar 3にて生成されたアーカイブファイルは出力対象から除外されます。</p>

4. MylogStar Agent

4.1 コンピューターログ

管理番号	登録日	制限事項
P-0014	2013/10/31	Windows 8.1/10において高速スタートアップ機能を有効にしたときには、コンピューターのパワーオン/パワーオフをサスペンド状態の突入/復帰として記録する場合があります。コンピューターのパワーオン/パワーオフを正しく記録するためには高速スタートアップ機能を無効にする必要があります。
P-0016	2013/10/31	OSの機能以外の方法でサスペンドを行った場合、コンピューターログには記録されません。 【確認済みの事象】 ① Hyper-V管理コンソールにおいて、仮想マシンに対する「一時停止」、「再開」を行った場合
P-4101	2020/06/01	コンピューターのタイムゾーンや夏時間の設定を変更した後からコンピューターの再起動までについて、その間に取得されたコンピューターログにおける「タイムゾーン」「夏時間識別」「時差」の項目は、パワーオン時での情報が表示されます。タイムゾーンや夏時間の設定変更がログに反映されるのはコンピューターの再起動後となります。

4.2 ユーザーログ

管理番号	登録日	制限事項
P-0017	2013/10/01	正常なログオフ以外の形で端末を切断したときには(強制的な電源断等)、ログオフ時間は取得できない場合があります。この場合、ログオフ時間を取得した時点で確定する情報(実使用时间)も取得されません。
P-0018	2013/10/31	ログオフログは該当のユーザーセッションをログオフまたはシャットダウンした時点で取得されます。リモート接続において、ウィンドウを×ボタンで閉じた場合、リモート接続先のユーザーセッション自体は終了しないため、ログオフログは取得されません。
P-0019	2013/10/31	通常ユーザーでログオン中に管理者権限への昇格を行うと、昇格したユーザー名のログが取得されます。
P-4099	2019/12/12	Windows 8.1/10において高速スタートアップ機能を有効にしたときには、コンピューターをパワーオフした時刻がユーザーログの終了時刻にはならず、次回コンピューターをパワーオンした時刻が終了時刻となる場合があります。ユーザーログの終了時刻を正しく記録するためには高速スタートアップ機能を無効にする必要があります。
P-4105	2021/02/24	リモート接続履歴は、マイクロソフト社の「リモートデスクトップ接続」にて接続が行われた際に

管理番号	登録日	制限事項
		取得します。 仮想デスクトップ製品等で他の通信プロトコルが利用された場合、接続・切断の情報が正しく取得されない場合があります。

4.3 スクリーンショットログ

管理番号	登録日	制限事項
P-0020	2013/10/01	「定期間隔で取得する」を有効にしたときには、取得間隔を狭くすると大量のログが取得されシステムの運用に支障を生ずる場合があります。特にMylogStar Enterpriseではネットワークへの影響も考慮する必要があります。
P-0021	2013/10/01	Windows 7以降の環境においてデスクトップ上のガジェットは、スクリーンショットログとして取得されません。
P-0022	2013/10/01	Windows 7以降において、次の条件を全て満たす場合にPrintScreen押下時のスクリーンショットログは取得できません。 ① UACが有効である。 ② Internet Explorer 7以降である。 ③ Internet Explorerが最前面の状態である。 ④ Internet Explorerの保護モードが有効となるWebサイトを開いている。
P-0023	2013/10/31	管理者権限のないアカウントにおいて、管理者権限を必要とする画面(システムの詳細設定画面など)が最前面にあった場合、スクリーンショットログは取得できません。
P-0024	2013/10/31	最前面にウィンドウが存在しない場合、スクリーンショットログは取得できません。 【確認済みの事象】 ① コンピューターのロック時 ② リモートデスクトップ接続切断時
P-0025	2013/10/31	OSの日時を変更した際、定期間隔によるスクリーンショットログが取得されなくなる場合があります。
P-0026	2013/10/31	XenAppの公開アプリケーション利用時において、PrintScreenキー押下時のスクリーンショットログは取得できません。
P-0282	2015/03/18	マルチモニター環境の場合、スクリーンショットログの取得対象はメインディスプレイのみです。
P-0304	2015/08/17	管理者として実行したアプリケーションなどの画面が最前面にあった場合、PrintScreenキー押下時のスクリーンショットログは取得されません。
P-0368	2017/03/14	「マップ」や「カレンダー」など一部のユニバーサル Windows プラットフォーム (UWP) アプリが最前面に表示されている状態において、PrintScreenキー押下時のスクリーンショットログは取得できません。
P-4026	2018/04/02	高DPI(高解像度 / 高精細)に対応したコンピューターにてスクリーンショットログを取得した

管理番号	登録日	制限事項
		場合、スクリーンショット画像が欠けるなど正常に取得されない場合があります。

4.4 アプリケーションログ

管理番号	登録日	制限事項
P-0027	2013/10/01	MylogStarに関わるアプリケーションは、ログとして記録しません。
P-0028	2013/10/01	コンピューター起動直後などの高負荷時には、アプリケーションの実行ファイルパスを取得できない場合があります。
P-0029	2013/10/01	実行ファイルパスが取得できなかったログについては、アプリケーションの詳細な情報(「プロダクト名」や「バージョン」)を取得することができない場合があります。
P-0030	2013/10/01	正常なログオフ以外の形で端末を切断したときには(強制的な電源断等)、アプリケーションの終了時間は取得できない場合があります。この場合、アプリケーション終了時間を取得した時点で確定する情報(アクティブ時間、Delete、Backspace、英数字、Alt、Ctrl、スペース、その他のキー押下数やマウスのクリック数と移動距離)も取得されません。
P-0031	2013/10/31	プロセスの親子関係を持つアプリケーションにおいては、アクティブ時間や各種キー押下またはマウスクリックの回数や移動距離が親プロセスに該当するログに計上されます。 【確認済みのアプリケーション】 ① Internet Explorer 10
P-0032	2013/10/31	稼働時間が短いプロセスはアプリケーションログとして取得できません。 【確認済みの事象】 ① 起動したプロセスが500m秒以内に終了する場合
P-0033	2013/10/31	アプリケーションに対するマウスクリックの回数において、ダブルクリックはクリック1回としてカウントします。複数回のシングルクリックが、OSによってダブルクリックと判定された場合も同様です。
P-0034	2013/10/31	ウィンドウタイトルを持たないアプリケーションに対する各種キー押下またはマウスクリックの回数や移動距離は取得できません。 【確認済みのアプリケーション】 ① OS付属の「付箋」(stikynot.exe)
P-0331	2016/02/10	Microsoft Edgeを含む「Windowsストアアプリ」を使用した際のアクティブ時間と各キーの押下数は取得されません。
P-0370	2017/03/22	管理者として実行した場合など、Windowsにログオン中のユーザーとは異なるユーザーでアプリケーションを起動した際、アプリケーションログのユーザー名が「system」として取得される場合があります。
P-4015	2018/03/01	マウス移動距離、キー押下数は最前面にあるアプリケーションに対して加算されます。

管理番号	登録日	制限事項
P-4083	2019/08/09	管理者権限のないアカウントにおいて、アプリケーションを「管理者として実行」より起動した場合、そのアプリケーションのキー押下数やマウス操作内容は取得されません。

4.5 ファイルログ

管理番号	登録日	制限事項
P-0035	2013/10/01	アプリケーションとOSカーネルとの間の操作命令を取得しファイルログを生成しているため、記録される「操作内容」が意図したものと異なる場合があります。
P-0036	2013/10/01	OSのI/Oマネージャーを経由しない操作命令が発生したときには、MylogStarはそれを取 得できないため、ログを生成できない場合があります。 【確認済みの事象】 ① Windows 7付属の「notepad.exe」において、「READ」イベントが取得できない。 ② Word 2007において、拡張子「.doc」の「READ」イベントが取得できない。
P-0037	2013/10/01	短時間に大量(数千件単位)のファイル操作を行ったときには、OSのメモリバッファの上限に より記録に欠けが発生する場合があります。
P-0038	2013/10/01	フィルターの数や取得するログが多い場合、コンピューターへ多くの負荷をかける可能性があ ります。また、操作ログが膨大になる可能性があります。このため、フィルターの設定につい ては導入前に確認を行い、必要なフィルターのみ適用するようにしてください。
P-0039	2013/10/01	CD / DVD へのファイルの書き込み記録は取得できません。ただし、ライティングソフトが読み 出したログは取得できるため、書き込んだファイルの追跡調査は可能です。
P-0040	2013/10/01	「ファイル名」、「ファイル名(操作後)」、「パス」、「パス(操作後)」は英字のみ大文字から小 文字に変換されます。
P-0041	2013/10/01	ネットワーク上の共有フォルダーへアクセスした場合、記録されるパスは、ネットワークパス (UNC)形式となります。このとき、実際の操作で用いたネットワークパスが、コンピューター 名、IPアドレス、いずれの場合であっても、可能な限りIPアドレス形式に変換して記録しま す。ただし、ネットワーク環境の問題によりIPアドレスに変換できない場合もあります。
P-0042	2013/10/01	ポリシーの「フィルター」において、ネットワークドライブとして割り当てたドライブ文字を使用して パスを指定した場合は、フィルター設定の対象外となります。意図どおりに設定を行うため には、ネットワークパス(UNC)によって指定する必要があります。 例)「\\192.168.1.201\Document」をZドライブに割り当てた場合 ① フィルターの「パス」に「Z:\」を指定してもログは取得されない。 ② フィルターの「パス」に「\\192.168.1.201\Document」を指定するとログが取得される。
P-0043	2013/10/01	ポリシーの「フィルター」において、ネットワーク上の共有フォルダーをネットワークパス(UNC)に よって指定する場合、コンピューター名での指定とIPアドレスでの指定はそれぞれ別の設定と して識別されます。また、ユーザーの操作においてもこれらは別の操作としてログを取得しま す。

管理番号	登録日	制限事項
		<p>例)コンピューター「PC01」のIPアドレスが「192.168.1.201」であった場合</p> <p>① 「フィルター」において、「\\PC01\Document」と「\\192.168.1.201\Document」は、別の設定として識別される。</p> <p>② ユーザーのファイル操作において、「\\PC01\Document」と「\\192.168.1.201\Document」へのアクセスは、別の操作として取得する。</p>
P-0044	2013/10/31	共有フォルダー、ネットワークドライブ上でファイル操作を行った場合、操作前後ともにデバイスインスタンスパスは取得できません。
P-0045	2013/10/31	Windows 8.1、Windows Server 2012/2012 R2では、操作命令の出力仕様が他OSと異なります。これまで取得されていたタイミングで操作ログが取得されない場合があります。
P-0047	2013/10/31	Windows 8.1以降のOSにおいて、ファイルコピーを行った時のファイルサイズが取得できない場合があります。
P-0048	2013/10/31	<p>ファイルを開いた直後に「名前を付けて保存」を行った場合、「操作内容」が「ファイルコピー」のログが取得される場合があります。</p> <p>【確認済みの事象】</p> <p>① PowerPoint、Excelで、ファイルを開いて10秒以内に「名前を付けて保存」を行うと、「ファイルコピー」のログが取得される。</p>
P-0049	2013/10/31	操作前後の「パス」において、ドライブ情報(ドライブレターと機器名)は英字であっても小文字に変換していません。これは機器名を取得したとおりに表示するための処置となります。
P-0050	2013/10/31	サイズが0のファイルを操作した場合、意図どおりの操作ログが取得されない場合があります。
P-0051	2013/10/31	Windows 8.1以降のOSにおいて、コマンドプロンプトの「copy」コマンドを実行した際、コピー開始から終了までが1秒を超えた場合、「操作内容」が「ファイルコピー」のログが2件取得されます。
P-0052	2013/10/31	「名前を付けて保存」ダイアログが表示された直後に保存処理を実行した場合、「名前を付けて保存」のログが取得できない場合があります。
P-0146	2014/05/27	フィルターの「操作前パス」と「操作後パス」において、「8.3形式の短いファイル名(C:\PROGRA~1など)」を含む環境変数とワイルドカードを同時に利用することはできません。
P-0147	2014/05/27	フィルターの操作前パスと操作後パスに利用する環境変数は、途中で変更しても反映されません。コンピューターの再起動後に反映されます。
P-0158	2014/06/23	スマートデバイスなどの「MTPデバイス」上のファイル操作をログ取得することはできません。
P-0308	2015/08/17	特に大量のファイルログが取得される環境において、実際の操作とは異なる「コピー」のログが取得される場合があります。
P-0362	2017/03/02	ファイル操作を行ったアプリケーションが即座に終了した場合に、ユーザー名が「system」として取得される場合があります。

管理番号	登録日	制限事項
P-0363	2017/03/02	アプリケーションの起動と同時にファイル操作が行われた場合に、ユーザー名が「system」として取得される場合があります。
P-4009	2018/02/08	ファイル操作の失敗としてログ取得するのは、Windows ファイルシステムが「ACCESS DENIED(アクセス拒否)」と判断した操作が対象です。
P-4037	2018/04/17	OS稼働中に固定ディスクを動的に追加した場合 およびドライブレターを動的に変更した場合、その後にOSが再起動されるまでディスクデバイス名のままパスが取得される場合があります。
P-4048	2018/06/13	ファイル共有機能を利用した場合、MylogStar AgentではOS内で実際に行われたファイル操作をログとして取得します。このため、ユーザーが行った操作とは異なる内容でログ取得される場合があります。 【確認済みの機能】 Windows「近距離共有」
P-4100	2019/12/18	OS稼働中に仮想ディスクを動的に追加したり、ドライブレターを割り当てたりした場合、ディスクデバイス名のままパスが取得される場合があります。
P-4110	2024/01/30	Dev Drive(開発ドライブ)上の操作についてのログ取得には対応していません。
P-4112	2025/01/08	Microsoft Excel / Word / PowerPoint で上書き保存を実行したときの操作内容「保存」のログ取得は、Officeアドインを使用しています。Microsoft Office製品の設定によっては、Officeアドインが正常に動作しない場合があります。回避方法に関しましては、サポートセンターまでお問い合わせください。
P-4113	2025/05/22	環境変数を使用したフィルターについて、起動して即終了するようなアプリケーションの場合、環境変数が取得できず環境変数を使用したフィルターが機能しない場合があります。もし事象が発生した場合は、実際のパスに置き換えてご利用ください。 例) %APPDATA% は *\users*\appdata\roaming に置き換えられます。
P-4114	2025/05/22	コンピューターのシャットダウン直前に大量のファイル操作が発生した場合、まれにファイル操作ログの一部が記録されない可能性があります。これは、シャットダウン処理のタイミングによって、すべてのログ情報が正常に保存される前に記録処理が終了する場合があるためです。 この事象は、通常の利用方法においては発生しにくいものですが、システムの特性による注意事項としてご案内しております。

4.6 プリンターログ

管理番号	登録日	制限事項
P-0053	2013/10/01	プリンターログで記録される「ページ数」は、OSの「印刷ジョブの表示」のページ数から情報を取得します。このためプリンターの機能を利用して、複数ページをまとめて1枚に印刷する処理(Nアップ機能など)を行った場合、実際に印刷される枚数と取得される「ページ数」の値

管理番号	登録日	制限事項
		は異なります。
P-0054	2013/10/01	長い名称のドキュメント(URL)を印刷した際、アプリケーションによっては「印刷ドキュメント名」が途中までしか取得できない場合があります。また、末尾に「...」などの文字列が付加される場合があります。
P-0055	2013/10/01	Internet Explorer 9 からの印刷について、アプリケーション名、ファイル名、パスを取得することはできません。
P-0056	2013/10/31	ユーザーアカウント制御が有効となっているコンピューターからMicrosoft XPS Document Writerに対して印刷を行った場合、その印刷をログ取得することができません。
P-0057	2013/10/31	Microsoft XPS Document Writerに対して印刷を行った場合、ページ数が取得できません。
P-0058	2013/10/31	ポリシーの「ログ取得」「詳細設定」において有効にした「印刷したファイルの名前を取得する」設定を反映させるには、MylogStar Agentをインストールしたコンピューターにおいて再起動を行う必要があります。通信環境によっては、設定情報が端末に到着するまでに時間がかかることがあります。
P-0059	2013/10/31	「印刷したファイルの名前を取得する」設定を有効にした場合、セキュリティ関連ソフト等、システムを監視する様なソフトとの相性によっては、PCが不安定になる可能性があります。その場合、「印刷したファイルの名前を取得する」設定を無効にすることで現象の回避が可能となります。
P-0060	2013/10/31	「印刷したファイルの名前を取得する」設定を有効にした場合、OSの「印刷ジョブの表示」から情報を取得します。「印刷ジョブの表示」の情報は、印刷したアプリケーションによって任意に設定することが可能であり、その情報が製品仕様に合致しない場合、アプリケーション名、ファイル名、パスが取得できないことがあります。
P-0061	2013/10/31	「印刷したファイルの名前を取得する」機能において、ファイル操作ログでログ取得されないファイルを印刷した場合は、ファイル名、ファイルパスを取得できません。 例) 次のような場合が該当します ① ファイル操作ログを取得していない ② ファイル操作ログとして取得対象外の拡張子のファイルを印刷した ③ ブラウザからWebページを印刷した ④ 新規に作成したファイルを保存する前に、その内容を印刷した
P-0063	2013/10/31	「印刷したファイルの名前を取得する」機能において、印刷実行直後に印刷を行ったアプリケーションを終了した場合は、ファイル名、ファイルパスを取得できないことがあります。
P-0065	2013/10/31	「印刷したファイルの名前を取得する」設定を有効にした場合であっても、印刷を実行したアプリケーションの設定によっては、アプリケーション名、ファイル名、パスが取得できないことがあります。 【確認済みの事象】 ① Adobe Readerにおいて、保護モードが有効な場合
P-0066	2014/01/24	「印刷したファイルの名前を取得する」設定を有効にした場合であっても、印刷を実行したア

管理番号	登録日	制限事項
		<p>アプリケーションによっては、アプリケーション名、ファイル名、パスが取得できないことがあります。</p> <p>【確認済みのアプリケーション】</p> <ul style="list-style-type: none"> ① Adobe Photoshop CC ② Windows 11のメモ帳 ③ Windows 11のペイント
P-0160	2014/06/18	Internet Explorer 11 の保護モードを外しても、プリンターログの「ファイル名」「ファイルパス」「アプリケーション名」の項目が取得されません。
P-0163	2014/05/27	<p>Internet Explorer から印刷した操作について、Internet Explorer の保護モードが有効な場合は、プリンターログの次の項目が取得されません。</p> <ul style="list-style-type: none"> ① アプリケーション名 ② ファイルパス ③ ファイル名
P-0310	2015/08/17	プリンタージョブにおいてログ化に必要な情報が無い場合はログが取得されない、または、正しい情報が取得されない場合があります。
P-4005	2018/01/05	<p>プリンターログで記録される次の項目は、印刷ジョブに含まれる情報から取得しているため、実際に印刷された内容とは異なる場合があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 印刷品質 ② カラーモード ③ 両面印刷 ④ 用紙サイズ ⑤ ページ割り付け ⑥ 部数
P-4084	2019/10/04	プリンターログの「イベントログ方式」をご利用の場合、スプール中の印刷ジョブを削除した場合でもプリンターログとして取得される場合があります。
P-4085	2019/10/16	<p>プリンターログの「イベントログ方式」をご利用の場合、次の項目は取得されません。</p> <ul style="list-style-type: none"> ① アプリケーション名 ② ファイルパス ③ ファイル名 ④ 両面印刷 ⑤ 用紙サイズ ⑥ ページ割り付け <p>また、ユーザー名については「system」という固定の文字列で取得されます。</p>
P-4086	2019/10/16	プリンターログの「イベントログ方式」をご利用の場合、プリントサーバーに適用されるローカルグループポリシー、またはグループポリシーにて「イベント ログにジョブ名を記録する」が有効でない場合、ドキュメント名が「ドキュメントの印刷」という固定の文字列で取得されます。
P-4087	2019/10/16	<p>プリンターログの「イベントログ方式」をご利用の場合、Windows Server 2012のローカルグループポリシーでは「イベント ログにジョブ名を記録する」を設定することはできません。</p> <p>Windows Server 2012 R2以降のドメインに参加し、グループポリシーにて「イベント ログに</p>

管理番号	登録日	制限事項
		ジョブ名を記録する」を有効化してください。なおWindows Server 2012 R2の場合、「イベント ログにジョブ名を記録する」を設定するためには2014年4月の更新プログラム(2919355)が適用されている必要があります。また、設定の名称は英語表記で「Allow job name in event logs」と表示されます。
P-4089	2019/11/14	プリンターログの「イベントログ方式」は、プリントサーバーにて記録されたWindowsのイベントログに出力される印刷情報を元にログを生成しているため、実際のプリンターの設定内容および印刷された内容と異なる場合があります。
P-4096	2019/12/09	プリンターログの「イベントログ方式」は、MylogStar Agent for Serverのみ利用可能です。
P-4108	2022/01/27	「印刷したファイルの名前を取得する」において、コンピューター起動直後などの高負荷時には、ファイル名とファイルパスを取得できない場合があります。

4.7 ウィンドウログ

管理番号	登録日	制限事項
P-0067	2013/10/01	正常なログオフ以外の形で端末を切断したときには(強制的な電源断等)、ウィンドウの終了時間は取得できない場合があります。この場合、ウィンドウ終了時間を取得した時点で確定する情報(実使用時間)も取得されません。
P-0068	2013/10/01	Windows 7以降のOSにて、意図しないアプリケーション名 dwm.exe(デスクトップ ウィンドウ マネージャ)で、ログが取得される場合があります。
P-0191	2014/06/04	MylogStarにおいて、次の条件をいずれか一つでも満たすウィンドウはウィンドウログとして取得しません。 ① 見えないウィンドウ ② タイトルバーを持たないウィンドウ(キャプション属性が指定されていない) ③ ポップアップ ウィンドウ
P-0206	2014/06/18	MylogStarにおいては、次の条件をいずれか一つでも満たすウィンドウをダイアログとして扱っています。 ① タイトルと枠を持たないウィンドウ ② タイトルバーにウィンドウメニューボックスがないウィンドウ ③ サイズを変更できないウィンドウ ④ 最小化・最大化できないウィンドウ
P-0344	2016/06/23	Microsoft Edgeを含む「Windowsストアアプリ」を使用した際のウィンドウログは取得されません。

4.8 クリップボードログ

管理番号	登録日	制限事項
P-0069	2013/10/01	クリップボードの監視処理が行われている場合、特定のアプリケーションでコピーやペースト時に、エラーメッセージが表示されるなどの問題が発生する可能性があります。もし問題が発生した場合は、クリップボードの監視を停止することで現象の回避が可能です。
P-0070	2013/10/01	アプリケーションによっては、最後に使用したクリップボードのログが、重複して取得される場合があります。
P-0071	2013/10/01	記録できるのは、テキスト情報とファイルのパス情報のみとなります。
P-0072	2013/10/01	クリップボードデータ(ファイルパス、テキストデータ)は、最大1,000文字まで取得可能です。1,000文字を超える範囲は切り捨てられます。
P-0073	2013/10/01	クリップボードにおいて、先回取得したデータと同じものを取得した場合は、ログとして記録されません。
P-0074	2013/10/31	ファイル名やフォルダ名の変更時に、コピーしていたテキストを貼り付けた場合、クリップボードログを取得することがあります。
P-4055	2018/09/28	MylogStar Consoleよりクリップボードログを取得する設定とした場合、Microsoft Excel等にてコピー・アンド・ペースト操作を連続実行するようなマクロ処理を実行した際、マクロ処理に時間がかかる場合があります。特に、大量のデータを連続してコピー・アンド・ペーストするようなマクロをご利用になる場合は事前に十分な検証を行うようにしてください。

4.9 Webログ

管理番号	登録日	制限事項
P-0075	2013/10/01	WEBブラウザにてキャッシュが有効になっているときには、サーバーへ問い合わせを行わず端末上のキャッシュを利用して表示を行うため、ログが取得できない場合があります。
P-0076	2013/10/01	WEBブラウザ上でのFTP操作は、FTP情報として記録されます。ただし、プロキシ経由のときには正常に取得されない場合があります。
P-0077	2013/10/01	URLは、最大2083文字まで取得可能です。2083文字を超える範囲は切り捨てられます。
P-0078	2013/10/01	URLにポート番号が含まれていた場合、ポート番号を含めた状態でホスト名として取得される場合があります。 例)「https://www.runexy.co.jp/index.html」 → ホスト名「www.runexy.co.jp」 「https://www.runexy.co.jp:8080/index.html」 → ホスト名「www.runexy.co.jp/:8080」
P-0079	2013/10/01	文字コードの指定が無いページでは、ページタイトルが取得できない場合があります。

管理番号	登録日	制限事項
P-0080	2013/10/01	「&#XXXX;」フォーマット(数値文字参照または文字実体参照)で指定されたページタイトルはそのまま取得されます。
P-0081	2013/10/01	URL内の「#」以降の情報は取得できません。
P-0082	2013/10/01	国際化ドメイン名でのアクセスは、DNS解決後のドメイン名として記録されます。 例)「www.総務省.jp」→「www.soumusyo.jp」
P-0083	2013/10/01	Windows 7以降のOSでは、telnetコマンドを使用したHTTPの通信をログとして取得することができません。
P-0084	2013/10/31	ページで指定されている文字コードと実際に使用されている文字コードが異なるときには、正常にログが取得できない場合があります。
P-0306	2015/08/17	Webログで取得可能な通信プロトコルは、HTTPとHTTPSに限ります。現状 SPDYやHTTP/2、QUIC等の通信プロトコルを使用した通信の記録は取得されません。 なお、QUICが使用されるケースとして確認されているのは次のとおりです。 ・ChromeにてGoogleが提供するサービス(YouTubeなど)を利用した場合
P-0371	2017/03/22	HTTP(S)通信においてMylogStar Agentが対応していない圧縮方式にて構築されているWebサイトを参照した場合、Webログのページタイトルは取得されません。 MylogStar Agentは次の圧縮方式に対応しています。 ① gzip ② deflate ③ brotli
P-4008	2018/02/08	ステータスコードは次の条件で取得されます。 ① 100番台(Information)は取得しません。 ② Webサーバーからのレスポンスコードをログとして取得しています。取得されたコードの詳細については、RFCにおけるHTTPステータスコードの定義をご参照ください。
P-4017	2018/03/02	クライアント証明書を要求するHTTPSサイトのWebログは取得されません。
P-4020	2018/03/16	Webブラウザの機能としてシマンテック発行のSSL/TLSサーバ証明書が導入されたウェブサイトアクセスの際に警告が表示される場合がありますが、MylogStar Agentがインストールされている環境ではこの警告が表示されない場合があります。

4.10 Eメールログ

管理番号	登録日	制限事項
P-0085	2013/10/01	Eメールログで取得可能な通信プロトコルは、SMTP(RFC 821に準拠)とPOP3に限ります。現状 IMAP4 APOP等のメールの送受信記録は取得されません。
P-0086	2013/10/01	Eメールログにて、SMTP/POP3の通信上で送受信されたデータが10MB以上の場合、10MB以降のデータは切り捨てられます。このため、本文または添付ファイルが完全な形で

管理番号	登録日	制限事項
		記録されない場合があります。なお、通信の仕様上、送受信されるデータサイズは、元のメールデータサイズの約1.5倍となります。
P-0087	2013/10/01	宛先がBCCのメールを送信した場合、送信のログは記録されますが、メールイメージを表示してもBCCの宛先は表示されません。また、メールの受信時には、BCCは記録に残りません。これは、メールの性質上正常な動作となります。
P-0088	2013/10/01	ウイルスチェックが行われる前にメールデータを取得する場合がありますため、メールイメージを開く際は十分に注意をする必要があります。またこのため、場合によっては取得したデータをウイルスとして検知することがあります。
P-0089	2013/10/01	MylogStar Consoleの「メール詳細」ダイアログボックスからメールの内容を参照したときには、取得されたメール本文末尾に制御コードが付加される場合があります。
P-0090	2013/10/01	メールの本文ヘッダ情報中のタイトル情報がMIMEに則っていないときには、「件名」が文字化けする場合があります。これは特に、スパムメール等に多い現象です。
P-0091	2013/10/01	メールデータ内の「Content-Type」に基づいて、本文と添付ファイルの区別を行っています。このため、この情報が正しく設定されていないメールについては、ポリシーの「ログ取得」「詳細設定」において添付ファイルを取得しない設定にしても、意図どおりに処理されない場合があります。
P-0092	2013/10/01	メーラーの機能によって分割されたメールについては、添付ファイル数を正しく取得できません。
P-0093	2013/10/01	送信先、送信元のメールアドレスは、最大256文字まで取得可能です。256文字を超える範囲は切り捨てられます。
P-0094	2013/10/01	取得したメールパケットデータ内の送信元アドレス(From)が空欄である場合、そのログは取得しません。
P-0095	2013/10/01	コンピューターのスペックによっては、大容量のメールを送受信したとき、そのメールを解析する処理のためにCPUの使用率が高まる場合があります。
P-0096	2013/10/31	POP3対応のメーラーであっても、通常のPOP3コマンドを使用しない場合は受信のログが記録されません。 【確認済みのアプリケーション】 ① nPOPQ
P-0097	2014/01/24	EメールログをCSV出力する際に、メール本文は最大1,000文字まで出力されます。
P-4003	2017/12/01	Agentは以下のURL配下で操作が行われた際にGmailとして解析やログ取得を行います。 https://mail.google.com/mail/~ 上記以外のURLでGmailの操作が行えるような場所があった場合(もしくは将来的にGmailのURLが変わってしまった場合)、そこで行われたメール操作は取得することができません。

管理番号	登録日	制限事項
P-4010	2018/02/08	<p>Webメールで対応する「Outlook」には、次の制限事項があります。</p> <p>① 以下のURL配下で操作が行われた際にOffice365を利用したWebメールとして解析やログ取得を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・https://outlook.office.com/owa/ ・https://outlook.office365.com/owa/ ・https://outlook.live.com/owa/ <p>上記以外のURLでOffice365を利用したWebメールの操作が行えるような環境があった場合(もしくは将来的にURLが変わってしまった場合)、そこで行われた操作はログ取得できません。</p> <p>② Office365のEメールログ取得は、Office365契約時に作成されたドメイン(@xxx.onmicrosoft.com)で利用した場合のみサポートの対象となります。それ以外のアカウント利用についてはサポートの対象範囲外となります。</p> <p>③ Microsoft Office 365 Lightバージョンを使用して行われたメール送信の記録は取得されません。</p> <p>④ メールを受信は取得されません。</p> <p>⑤ 差出人のアドレス(From)は取得されません。</p> <p>⑥ 添付ファイルに関する情報は取得されません。</p> <p>⑦ 送信先(To,Cc,Bcc)に「連絡先リスト」を指定した場合、送信先メールアドレスは取得できません。</p> <p>この場合、送信先は「contact-list」という名前で取得されます。</p>
P-4014	2018/02/28	<p>Webメールサービスのバージョンアップや仕様変更、統廃合によりWebメール操作ログ取得機能が動作しなくなる場合があります。</p>
P-4023	2018/03/27	<p>Webメールサービス利用についてのログ取得では、自動応答などサーバーサイドで行われる処理に対してのEメールログは取得されません。</p>
P-4030	2018/04/10	<p>メールの件名や本文に絵文字や特殊文字が使用された場合、記録されたログではそれらの文字が?など他の文字に置き換えられる場合があります。</p>
P-4106	2021/03/01	<p>Windows のシステムロケールを「日本語」以外で運用している環境でEメールの送受信を行った際、メールの件名・本文に日本語が用いられていた場合、一部の環境において文字化けして取得される場合があります。この際、MylogStar Console / Standalone Console のEメールログ画面にて「操作」項目から閲覧できるメールのコピーは正常に表示可能です。</p> <p>【確認済みの発生条件】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・タイ語または英語版のWindowsを利用している。 ・メールサービスはMicrosoft 365 Outlookを利用している。 ・Outlookの電子メールアカウントは、メールサーバーの設定として「SMTP」と「POP」を利用している。
P-4109	2023/07/18	<p>MylogStar Agentがインストールされたコンピューターにおいて、Outlook on the web (Webメール版のOutlook)のメール送信は、HTTP/2プロトコルを使用して通信が行われません。</p>

4.11 イベントログ

管理番号	登録日	制限事項
P-0099	2013/10/01	一部サービスのイベントログの説明欄が空欄で取得される場合があります。
P-0100	2013/10/01	MylogStar Agentのイベントログ取得では、特定の状況でログの取得タイミングに遅延が発生します。OSの仕様上、前回取得後5秒以内に発生したイベントログであっても、5秒経過後にイベントログが発生したタイミング、もしくは再起動直後に取得されます。
P-0101	2014/01/24	Windows Server 2008においてイベントログを保存して削除した場合、OSを再起動するまで、削除後に発生したイベントログは取得されません。 これはWindowsの不具合によるものです。 下記修正プログラムを適用させることで解決されます。 https://support.microsoft.com/kb/2458331/ja
P-0102	2014/01/24	「ForwardedEvents」のイベントログは取得対象外となります。

4.12 インベントリーログ

管理番号	登録日	制限事項
P-0138	2014/05/27	Windows 8.1/10で高速スタートアップが有効な場合は、WindowsのシャットダウンからのWindows起動では、インベントリー履歴を除くインベントリーログを取得できません。
P-0139	2014/05/27	下記の情報は、Windowsのデフォルトユーザーのみ取得します。 ① スクリーンセーバー情報 ② IEスタートページ情報 ③ スタートアップ情報
P-0140	2014/05/27	プロダクトID情報は、Office 2010以降が対象となります。
P-0141	2014/05/27	ウイルス対策情報は、Windows Server OSでは取得できません。
P-0161	2014/06/23	Windowsのセキュリティセンターが「無効」の場合、ウイルス対策情報を取得することができません。

4.13 ステータスログ

管理番号	登録日	制限事項
P-0103	2013/10/31	MylogStar Agentをインストールしたコンピューターがセーフモードで起動した場合、ステータスログにその起動が記録されます。このとき、セーフモードではネットワーク情報を取得できないため、IPアドレスは空白、MACアドレスは「00:00:00:00:00:00」として記録されます。

4.14 通信系ログ共通

管理番号	登録日	制限事項
P-0104	2013/10/01	TCP/IP 以外のプロトコルを利用した場合、ログの取得はできません。
P-0105	2013/10/01	MylogStar Agentが対応するSSL通信は、「HTTPS」、「SMTPS」「POP3S」となります。通信プロトコルがSSL以外の方式で暗号化されているときや、圧縮等により加工されて通信が行われるソフトウェアを利用したときは、Web、Eメール、FTP、Webメールのログが取得できない場合があります。
P-0106	2013/10/01	パケット取得機能の品質は、MylogStar AgentがインストールされているコンピューターのCPU処理速度等のスペックに依存します。極端に処理速度の低いコンピューターや高負荷状態が続くときには、ログに欠損が発生する場合があります。
P-0107	2013/10/01	ユーザー名はOS内部情報から取得しています。この情報の更新間隔とプログラムの取得処理のタイミングが合わないために、ユーザー名が「system」として取得される場合があります。
P-0108	2013/10/31	コンピューターの通信を取得するために、MylogStar Agentが監視するポートを「待機ポートリスト」にて指定します。この待機ポートリストに他のアプリケーションで使用しているポートを指定した際、他アプリケーションの動作に問題が生じる場合があります。問題が発生した場合は、待機ポートリストから該当するアプリケーションに関わるポートを除外し、状況が改善されるかご確認ください。【確認済みの事象】① XenAppがインストールされたコンピューター上で動作するMylogStar Agentの待機ポートリストに対して、XenAppのセッション画面の保持に使用するポート(既定値 :2598)を指定した場合、アプリケーション配信が実行できません。
P-0110	2014/01/24	MylogStar Agentが対応するWebメールは、次のサービスとなります。① Gmail ② Outlook (Office365アカウントを利用)
P-0111	2014/01/24	Webメールで対応する「Gmail」には、次の制限事項があります。 ① Gmailが対応するブラウザ、およびバージョンで操作する必要があります。 ② Internet Explorer 10においてログが取得できない場合があります。この場合、Webブラウザを上位バージョンにバージョンアップするか、別のWebブラウザを使用することにより現象が回避できる可能性があります。 ③ メールを受信は取得されません。 ④ リッチテキスト(HTMLメール)として送信した場合、本文はHTMLタグを含むテキストデータとして取得されます。 ⑤ 下書き保存は取得されません。 ⑥ 添付ファイルサイズと実際の添付ファイルの取得はできません。添付ファイル名のみ取得できます。
P-0132	2014/06/27	MylogStar Agentは、以下のアプリケーションのSSL通信に対応しています。 ① Internet Explorer ② Microsoft Edge ③ Chrome ④ Firefox

管理番号	登録日	制限事項
		<ul style="list-style-type: none"> ⑤ Opera ⑥ Outlook ⑦ Outlook Express ⑧ Thunderbird ⑨ Becky! Internet mail
P-0153	2014/06/23	暗号化通信除外ドメインリストはHTTPSのドメインのみを除外することができます。
P-0162	2014/06/18	Windowsストアアプリの「Windowsメール」からGmailを送信した場合、その操作をログ取得することはできません。
P-0217	2014/12/24	<p>暗号化通信ログ取得機能を有効にした場合、特定のサイトへのアクセスに失敗する現象が発生します。特定のサイトとは、暗号化通信のプロトコルやバージョンが一致しない場合にエラーを返すサーバーを使用しているサイトとなります。</p> <p>次の対応によって本現象を回避することができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 対象サイトを除外対象ドメインに設定する ② 暗号化通信ログ取得機能を無効にする
P-0234	2015/01/14	通信プロトコルを途中で暗号化された通信に切り替える方式を使用した場合、その暗号化された通信に対するログは取得されません。
P-0287	2015/03/23	暗号化通信を取得するポリシー設定が有効となっているコンピューターにおいて、ローカルにインストールされたデジタル証明書を使用してアクセスを行うWebサービスを使用した場合、その対象ページに対するWebログは取得されません。
P-0288	2015/04/07	<p>手動による証明書のインストールが実施されていないコンピューターにおいて、MylogStar Agent製品インストール後に初めてアクセスするHTTPSのWebサイトを閲覧した際、証明書のエラー画面が表示される場合があります。</p> <p>回避方法については、次のいずれかが対策を行うことによって回避することができます</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 信頼されたルート証明書(CTL)群のダウンロードを行い、証明書ファイルを各クライアントへ配布する <p>詳しい手順を記載したFAQを用意しておりますのでご参照ください。 https://www.runexy.co.jp/support/faq/mylogstar/68000003152</p> <ul style="list-style-type: none"> ② 一時的にMylogStar Consoleのポリシー設定により「暗号化通信のログを取得する」を無効化して、該当のWebサイトにアクセスした後で、再度「暗号化通信のログを取得する」を有効化する ③ 一時的にMylogStar Consoleのポリシー設定により「暗号化通信除外ドメインリスト」に該当のWebサイトのドメイン名を登録して、該当のWebサイトにアクセスした後で、「暗号化通信除外ドメインリスト」の設定内容を削除する
P-0303	2015/08/17	MylogStar Agentのサービスが開始される前に起動されたプロセス(アプリケーション)の通信の内容は取得されません。
P-0314	2015/08/18	IPv6での通信は取得対象外となります。アプリケーションがIPv6として接続待ちしている場合などには、その操作のログは取得されません。

管理番号	登録日	制限事項
P-0318	2015/08/25	ローカルループバックアドレス(127.0.0.1)に対する通信はログとして取得できません。
P-0327	2015/08/27	通信監視アプリケーションリストにUnicode文字が含まれたアプリケーション名を指定した場合、指定アプリケーションを監視除外、もしくは監視できない場合があります。
P-4018	2018/03/02	MylogStar Agentがインストールされている環境にFirefox または Thunderbird をインストールし、それらでSSL通信を行った場合、証明書エラーが表示される場合があります。この場合、PCを再起動すると解消します。
P-4049	2018/06/13	MylogStar Agentにて暗号化通信が監視されたPCにおいて、クライアント証明書を要求するHTTPSサイトを閲覧した際にクライアント証明書に対するエラーが表示される場合があります。エラーが発生した場合は、該当するコンピューターに適用されているポリシーに対して次のいずれかの変更を行うことで改善されます。 ①「暗号化通信除外ドメインリスト」に該当するWebサイトのドメインを設定する。 ②「暗号化通信アプリケーションリスト」から該当するWebサイトを閲覧する際に利用するWebブラウザを除外する。 ③「暗号化通信のログを取得する」の設定を外す。
P-4051	2018/08/14	MylogStar Agentにて暗号化通信を監視するコンピューターにおいて、不正なSSL / TLSサーバー証明書を持つサーバーにアクセスした際のログは取得されません。 不正なSSL / TLSサーバー証明書とは、例として次のような証明書を指し、Webブラウザよりアクセスした際には一般的に警告表示が行われるものです。 ・有効期限が切れた証明書 ・信頼されない証明書 ・脆弱性を持つ古い暗号化方式を使用した証明書
P-4053	2018/09/04	MylogStar Agentがインストールされたコンピューターにて暗号化通信の監視を行う場合、「TLS1.3」が利用可能な環境においても「TLS1.2」が利用されます。

4.15 ネットワーク関連

管理番号	登録日	制限事項
P-0112	2013/10/01	複数のネットワークカードを使用している場合であっても、各ログにおいては1つのIPアドレス / MACアドレスのみ取得されます。このとき、実際に取得される情報は、OSがコンピューター名に関連付けている情報となります。
P-0113	2013/10/01	無線LAN + DHCPの環境においてMylogStar Agentを稼働させたときには、IPアドレス及びMACアドレスが正しく取得できない場合があります。

4.16 デバイス制御

管理番号	登録日	制限事項
P-0143	2014/05/27	本機能は以下のAgent製品では動作しません。 ① Agent for Virtual
P-0155	2014/06/18	デバイス制御によりFDD、CD/DVDの利用を禁止としたままアンインストールを行うと、Agent アンインストール後もFDD、CD/DVDの利用が禁止状態となります。禁止したままアンインストールした場合は、グループポリシーエディターの「コンピューターの構成/管理用テンプレート/システム/リムーバブル記憶域へのアクセス」において、「フロッピードライブ: 読み取りアクセス権の拒否」と「CD および DVD: 読み取りアクセス権の拒否」を無効に設定します。
P-0156	2014/06/18	Windows側の既知の障害により、次のOSにおいてデバイス制御の読み取り禁止の設定を解除しても、読み取り禁止のままアクセスができない場合があります。 ① Windows 7 ② Windows Server 2008 ③ Windows Server 2008 R2 この問題を避けるためデバイス制御を利用するコンピューターには、事前にWindowsの修正パッチを適用しておくことを推奨します。 https://support.microsoft.com/kb/2738898
P-0296	2015/04/08	本機能は仮想OS上にMylogStar Agent製品を導入した場合は利用できません。

4.17 アクセス制御

管理番号	登録日	制限事項
P-0144	2014/05/27	本機能は以下のAgent製品では動作しません。 ① Agent for Virtual
P-0145	2014/06/09	次のUSBストレージは、設定されたアクセス許可リストの制御が正しく動作しない場合があります。この場合、Consoleで設定された「USBストレージ基本設定」の動作に従います。 ① 一般的なUSBストレージの仕様に合わないデバイス(ベンダーIDが取得できないなど) ② 一部の暗号化機能付きUSBストレージ、およびウイルス対策機能付きUSBストレージ
P-0157	2014/06/23	スマートデバイスなどの「MTPデバイス」へのアクセスを制御することはできません。
P-0291	2015/04/07	本機能は仮想OS上にMylogStar Agent製品を導入した場合は利用できません。
P-0311	2015/08/18	対応するデバイスはマイクロソフトの標準ドライバーで動作するUSBストレージデバイスです。次の内容についてご確認ください。 ① すべてのハードウェアでの動作を保証するものではないため、事前に評価版で動作確認や検証作業を実施してください

管理番号	登録日	制限事項
P-0340	2016/03/14	MylogStar Agentとしてデバイス情報を正しく取得することができないUSBストレージデバイスを使用した場合、アクセス制御は機能しません。 【現象を確認したUSBストレージデバイス】 ① 株式会社アイ・オー・データ機器 USBメモリ「ED-SV4」シリーズ
P-0341	2016/03/16	USBストレージ基本設定よりUSBストレージデバイスの利用を禁止した環境において、それらの機器を端末に接続した際にエクスプローラー上などにUSBストレージデバイス内の内容が表示される場合があります。ただし、この場合においても接続されたUSBストレージデバイス内のファイルなどへの操作を行うことはできません。

4.18 パス情報について

管理番号	登録日	制限事項
P-0114	2013/10/01	ファイル、またはアプリケーション等のパスは、最大260文字まで取得可能です。260文字を超える範囲は切り捨てられます。

4.19 ウイルス対策ソフトとの競合について

管理番号	登録日	制限事項
P-0118	2014/01/24	Windows 8.1/10において一部のウイルス対策ソフトと共存させた環境で、Windowsのログオン処理などに時間がかかる場合があります。
P-0134	2014/06/27	Symantec Endpoint Protectionと共存させた場合、Eメールの送受信が遅くなる場合があります。この場合、Symantec Endpoint Protectionを更新するか、Symantec Endpoint Protection側でウイルスチェックを行わない、もしくは、MylogStar側でSMTP/POP3の監視ポートを対象外とすることによって現象が回避される場合があります。
P-0294	2015/04/07	MylogStar Agent製品とウイルス対策ソフトが共存する環境の場合、特に以下の内容について注意する必要があります。 ① MylogStar Agent製品をインストールする際は、ウイルス対策ソフトは終了させてください ② MylogStar Agent製品のインストール先フォルダーをウイルス対策ソフトの設定により監視対象から除外してください
P-4001	2017/11/21	ウイルス対策ソフトなど通信を該当製品のプロセスが代行する製品と共存する場合、代行された通信を監視する際は通信を代行するプロセスと通信ポートを監視対象として設定する必要があります。また、この際に取得される操作ログのユーザーは通信を代行するプロセスの実行ユーザーとなります。

5. MylogStar Console

5.1 共通

管理番号	登録日	制限事項
P-0150	2014/06/23	大量データのアーカイブ中は、MylogStar Consoleに接続できなくなる場合があります。

5.2 検索

管理番号	登録日	制限事項
P-0119	2013/10/01	検索条件の登録名は、大文字/小文字・全角/半角・ひらがな/カタカナを区別しません。
P-0120	2013/10/01	検索条件の各項目は、大文字/小文字・全角/半角・ひらがな/カタカナを区別しません。
P-0121	2013/10/01	大量のスクリーンショットログをサムネイル表示するとメモリ不足によりConsoleが正常に動作しない場合があります。
P-0122	2013/10/31	Eメールログの「メール本文」やイベントログの「説明」のように改行を含む文字列について、ログ表示の際には改行を除いて表示しますが、実際に保管されているデータは改行を含んだままとなっています。このため検索を行った際、改行を含む文字列は条件に合致しない場合があります。
P-0149	2014/05/27	インベントリーログは串刺しログの対象外となります。
P-4002	2017/11/25	データベースが検索処理のために確保したメモリ上限を超える大量の操作ログの表示を行った場合、次のエラーメッセージが表示される場合があります。 --- データが取得できませんでした。 検索条件を変更して対象となる件数を減らし、再度実行してください。 --- この際は検索条件を絞り込み、処理の対象となる操作ログの件数を減らして再度実行してください。
P-4019	2018/03/14	詳細検索の追加条件にてコンピューターやユーザーを絞り込む際は、グループ設定にて設定した「表示名」ではなく、実コンピューター名や実ユーザー名を指定する必要があります。なお、基本条件を使用した検索では「表示名」を使用した絞り込みが可能です。
P-4024	2018/03/28	MylogStar Serverの関連サービスを再起動した後、MylogStar Consoleを使用すると次のエラーメッセージが表示される場合があります。 --- データが取得できませんでした。

管理番号	登録日	制限事項
		ページを更新し、直前の操作を再度行ってください。 --- この場合、MylogStar Consoleを再表示することで正常にログ表示が行えます。
P-4093	2019/12/02	アプリケーションを「別のユーザーとして実行」した場合、別のユーザーで操作したログがMylogStar ConsoleやMylogStar Standalone Managerで閲覧できない場合があります。該当のユーザーでログインし、ユーザーログを取得することで閲覧できるようになります。

5.3 Consoleログ

管理番号	登録日	制限事項
P-0123	2013/10/31	MylogStar Serverがインストールされたコンピューター上でConsoleを使用した場合、Consoleログの「IPアドレス」はループバックアドレスを示します。ループバックアドレスは、IPv4において「127.0.0.1」、IPv6において「::1」となります。

5.4 設定

管理番号	登録日	制限事項
P-0151	2014/06/16	グループ設定における作成およびインポートするグループは、2,000グループ以下を推奨します。これ以上のグループを処理しようとした際に、タイムアウトにより処理が失敗してしまう可能性があります。
P-0152	2014/06/16	LDAP連携ジョブにおける作成およびインポートするグループは、2,000グループ以下を推奨します。これ以上のグループを処理しようとした際に、タイムアウトにより処理が失敗してしまう可能性があります。
P-4029	2018/04/09	グループ設定の操作により適用されるポリシーが変更された場合は、変更前のポリシー (Agent動作設定の割り当て) で動作する場合があります。 最新のAgent動作設定を適用するには、次の何れかの操作を行ってください。 ① 任意のポリシーを変更する。 ② MylogStar Server および MylogStar Relay ServerのMylogStar Server Control Service サービスを再起動する。

5.5 分析

管理番号	登録日	制限事項
P-0227	2015/01/09	ファイル持ち出し分析の持ち出し方法「リムーバブルドライブ」において、リモートデスクトップ接続などより接続先端末にマッピングされた接続元端末のリムーバブルドライブへのファイル持ち出しは分析対象となりません。
P-4007	2018/01/23	<p>ログ表示画面より出力される合計レポートにおいて、明細行にて出力された数値の合計と、合計行にて出力された値に若干の差異が発生する場合があります。この差異は合計値を出力する為に必要な端数処理によるものであり、明細行にて表示された数値と各操作ログ上の数値に差異はありません。</p> <p>この現象は次の項目を合計レポートにて出力した際に発生します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ① スクリーンショットログ :合計レポートの「データサイズ」 ② ファイルログ :合計レポートの「ファイルサイズ」「ファイルサイズ(操作後)」 ③ Eメールログ :合計レポートの「メールサイズ」「添付ファイルサイズ」

6. 旧製品からの移行について

6.1 共通

管理番号	登録日	制限事項
P-4035	2018/04/17	旧製品からMylogStar 4へのバージョンアップは、MylogStar 3 Release5以降の製品が対象です。MylogStar 3 Release4.3以前をご利用の場合は、MylogStar 3 Release5以降にアップデートした後にMylogStar 4へのバージョンアップが可能になります。

6.2 MylogStar Server

管理番号	登録日	制限事項
P-4011	2018/02/14	MylogStar 3 Agent製品との接続には次の制限事項があります。 ① MylogStar 3 Release4.3以前のAgent製品との接続はできません。 ② 操作ログの強制回収は行いません。 ③ ポリシー設定の配信は行いません。 ④ リアルタイムアラート検知時に行う管理者へのメール送信において、アラートタグ情報の通知は行いません。

6.3 MylogStar Agent

管理番号	登録日	制限事項
P-4013	2018/02/28	MylogStar 3 AgentからMylogStar 4 Agentへのバージョンアップには次の制限事項があります。 ① MylogStar 3 Release4.3以前をご利用のお客様は、MylogStar 3 Release5以降にアップデートした後にMylogStar 4へバージョンアップしていただく必要があります。 ② MylogStar Agentのアップデート中および、アップデート後に再起動が行われるまでの間は、Agentはアップデート前のバージョンで動作しログの収集を続けます。ただし、次のログについては、アップデート後に再起動が行われるまでの間、ログ収集を行いません。 ・Webログ ・Eメールログ ・FTPログ
P-4092	2019/11/22	既に導入済みのMylogStar 3 または 4 Agent のバージョンアップ／アップデートは、Active Directoryの「ソフトウェア インストール」にて直接行うことはできません。導入済み

管理番号	登録日	制限事項
		MylogStar Agent の更新を行う場合は、MylogStar の機能として用意しております「ネットワークアップデート」もしくは「ローカルアップデート」をご利用いただく必要があります。

6.4 データベース移行ウィザード

管理番号	登録日	制限事項
P-4028	2018/04/06	<p>MylogStar 3 ServerがインストールされたOSがWindows Server 2008である場合、その環境上にて「データベース移行ウィザード」を利用することはできません。</p> <ul style="list-style-type: none"> ※ 移行処理の実行中にエラーになります。 ※ Windows Server 2008 R2では問題ありません。 <p>この場合、Windows Server 2008上ではなくMylogStar 4 ServerをインストールするOS上にて移行処理を行う必要があります。お客様の環境に合わせた移行手順をご案内しますので弊社担当までお問い合わせください。</p>
P-4036	2018/04/17	データベース移行ウィザードはMylogStar 3 Release5以降のデータベースが処理の対象になります。

7. MylogStar WorkRadar

7.1 共通

管理番号	登録日	制限事項
P-4038	2018/04/13	MylogStar WorkRadar Console の対応解像度について 必須環境として、解像度 1024×768 以上のディスプレイとしておりますが、推奨環境である 1280×800 以上のディスプレイを強くお勧めいたします。 推奨環境ではない場合、一部のレポートの表示が欠ける場合があります。
P-4042	2018/04/13	MylogStar のポリシー設定について MylogStar のポリシー設定において、MylogStar WorkRadar のレポートで使用するログを取得しない設定とした場合、レポートに表示することができません。 MylogStar WorkRadar でレポートの表示に必要なログは以下のとおりです。 ① アプリケーションログ ② ウィンドウログ ③ Eメールログ ④ Webログ ⑤ プリンターログ
P-4043	2018/04/13	MylogStar のログローテーションについて MylogStar のログの保持日数は既定値で90日に設定されています。この期間を経過したログは MylogStar WorkRadar のレポートに表示することができません。長期間に渡るデータを扱うレポートを表示する場合は、MylogStar Server 側でアーカイブデータを展開するか、ログの保持日数を延長してください。

7.2 出退勤管理

管理番号	登録日	制限事項
P-4040	2018/04/13	出退勤管理の対象データについて 出退勤管理(週別)および出退勤管理(月別)レポートの表示時、ユーザーログのアクティブ時間が 18 秒未満のログについてはチャートに表示されません。

7.3 ユーザー管理

管理番号	登録日	制限事項
P-4041	2018/04/13	<p>MylogStar WorkRadar のユーザー管理について</p> <p>MylogStar WorkRadar のユーザー管理に表示される内容は、MylogStar 側の設定内容が基準となります。MylogStar 側でユーザーが削除された場合、MylogStar WorkRadar のユーザー管理には表示されなくなります。</p> <p>そのため、ユーザーを削除する際は MylogStar WorkRadar のユーザー管理から削除を行ったあとに、MylogStar 側にてユーザーを削除するようにしてください。手順が逆になった場合、MylogStar WorkRadar で作成したユーザーは削除できなくなります。</p>

7.4 カレンダー管理

管理番号	登録日	制限事項
P-4044	2018/04/17	<p>既定の稼働日について</p> <p>[稼働日の修正]画面で[稼働日名]の編集が可能ですが、その内容は登録されません。</p>
P-4045	2018/04/17	<p>[例外の修正]画面について</p> <p>稼働時間の追加を行った際に、既に登録済の稼働時間が削除されます。稼働時間を追加する場合は、既に登録済の稼働時間をすべて削除した後に、稼働時間の追加を実施してください。</p>

7.5 タスク管理

管理番号	登録日	制限事項
P-4039	2018/04/13	<p>バックアップ先が容量不足だった場合の挙動について</p> <p>出力先のディスク容量が不足している場合、処理が失敗し、不完全なバックアップファイルが残る場合があります。Windows イベントログにディスク容量不足で失敗した旨が記載されておりましたら、不完全なバックアップファイルの削除をお願い致します。</p>

7.6 印刷分析

管理番号	登録日	制限事項
P-4098	2019/12/12	<p>「イベントログ方式」で生成されたプリンターログの場合、両面印刷とページ割り付けの情報を取得することができないため、MylogStar WorkRadarの次のレポートにおける「印刷枚</p>

管理番号	登録日	制限事項
		<p>数」および「印刷コスト」は、「片面印刷」および「ページ割り付け非対応(ページ割り付けなし)」として計算・集計されます。</p> <ul style="list-style-type: none">・業務分析 / 印刷分析・業務分析 / 印刷分析(平均)

8. MylogStar Desktop / ServerAudit

8.1 インストール、アンインストール

管理番号	登録日	制限事項
P-4069	2019/06/17	<p>MylogStar 4 Desktop、MylogStar Cloud ServerAuditのインストールにおいて、インストールフォルダー および データベースフォルダーのパス指定には次の注意事項があります。あらかじめご確認の上、指定を行ってください。</p> <p>① パスの長さは最大150バイトとなります。また、全角文字と「%」「;」「'」は使用できません。</p> <p>② 指定したパスが、ローカルドライブ以外を示す場合、正常に動作できない可能性があるため、動作保証の対象外となります。</p> <p>③ 各フォルダーに同一パスの指定や、一方がもう一方の配下になるような指定は行わないでください。</p>
P-4074	2019/06/21	<p>「バックアップ実行時刻」および「ログローテーション実行時刻」を既定値より変更した状態で、MylogStar 4 Desktop または MylogStar Cloud ServerAuditを再インストールした場合、ログ管理の各ジョブの実行時刻は既定値に戻ります。以下のマニュアルをご参照いただき、MylogStar Standalone Consoleのログ管理設定から、バックアップ設定とログローテーション設定を再設定してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「導入ガイド」-「インストール後の設定」-「ジョブ実行時刻の設定」 ・「ユーザーマニュアル」-「ログ管理設定」
P-4076	2019/06/20	<p>PCキittingにてインストールする際にポリシー更新ファイル「policy_up.dat」を更新する場合は、既存のpolicy_up.datを退避してから更新処理を実行してください。MylogStar Agentが停止した状態かつpolicy_up.datが存在する状態にて、MylogStar Standalone Consoleよりポリシー設定の更新を行った場合、policy_up.datは更新されません。</p>
P-4102	2020/06/15	<p>過去のログや設定を引き継ぐ形でMylogStar Cloud Desktop / ServerAuditのアップデートを行う場合は、現在ご利用中のエディションや言語とは異なる製品へのアップデートは行うことができません。</p> <p>次のようなケースが該当します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・MylogStar 4 Desktop から、MylogStar Cloud ServerAuditへのアップデート ・MylogStar Cloud ServerAuditから、MylogStar 4 Desktop へのアップデート ・MylogStar Cloud Desktop / ServerAudit 日本語版 から、英語版へのアップデート ・MylogStar Cloud Desktop / ServerAudit 英語版 から、日本語版へのアップデート

8.2 Standalone Console

管理番号	登録日	制限事項
P-4070	2019/06/19	ログ表示画面にて、特定のセルのみを選択してクリップボードにコピーすることはできません。ログ単位にて行全体の内容をクリップボードにコピーすることは可能です。
P-4072	2019/06/20	Users権限のユーザーにてWindowsにサインイン中に、MylogStar Standalone Consoleを起動する際は、ユーザーアカウント制御により管理者のユーザー名とパスワードを入力する必要があります。また、管理者として起動したMylogStar Standalone Consoleにてエクスポート処理の保存先としてユーザーフォルダーを選択した場合は、MylogStar Standalone Consoleを起動した管理者のユーザーフォルダーにファイルが保存されます。 対象となる機能は次のとおりです。 ・ログ表示画面のCSVエクスポート ・ポリシーのエクスポート ・検索条件のエクスポート
P-4073	2019/06/20	ログ表示画面において、¥マークはバックスラッシュで表示されます。¥マークはファイルパス表記におけるフォルダーの区切り文字や、ユーザー名表記におけるユーザー名とドメイン名の区切り文字として主に利用されます。
P-4088	2019/11/05	MylogStar Standalone ConsoleからエクスポートするCSVファイルは、Usersグループのユーザーが開いて読み取ることはできません。
P-4091	2019/11/20	ログ管理用ジョブ「ログローテーション」、「バックアップ」、「アーカイブの展開」、「ログ登録/アーカイブ」、「展開されたログの削除」が実行中の場合、[ログ登録実行]ボタンをクリックしてもログ登録は行われません。ログ管理用ジョブが完了してから、再度[ログ登録実行]ボタンをクリックしてください。

8.3 ログ管理設定

管理番号	登録日	制限事項
P-4075	2019/06/21	アーカイブファイルの保存先、バックアップファイルの保存先指定には次の注意事項があります。あらかじめご確認の上、指定を行ってください。 ① 指定した保存先が、ローカルドライブ以外の場合、正常に動作できない可能性があるため、動作保証の対象外となります。
P-4082	2019/06/26	「アーカイブの展開」、「展開されたログの削除」、「ログローテーション」などのログ管理機能は、ログデータベースに格納された操作ログの件数に応じて処理時間がかかります。適切なログの保持期間の設定と、ログデータベースに展開された閲覧済みのログは適宜削除していただくことでログデータベースに格納されたログの件数を管理してください。また、余裕をもったスケジュールでログ管理作業を計画してください。

管理番号	登録日	制限事項
		<p>当社検証環境におけるアーカイブ展開の処理時間の計測結果は以下の通りです。</p> <p>< MylogStar 4 Desktopにおける計測結果 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・3ヶ月分相当の操作ログをログデータベースに一括して展開 <p>処理時間 :約2時間20分 検証バージョン :14.0.2030.1</p> <p>※使用する機材のスペックや環境、取得された操作ログの件数や内容により処理時間は異なる場合がありますので、ご了承いただけますようお願い申し上げます。</p>
P-4103	2020/07/06	<p>夏時間の切り替えなどによりコンピューターの日付や時刻の調整が行われた際、タスクスケジューラの挙動として、調整された日時を基準にタスクの次回実行時刻が再設定される場合があります。</p> <p>この際、ログ管理設定にて利用している各タスクの次回実行時刻が再設定された場合には、対象となるタスクの実行は再設定された日時ではなく、次のタイミングにて実行されます。</p>

8.4 Standalone Manager

管理番号	登録日	制限事項
P-4097	2019/12/12	<p>MylogStar Desktop / ServerAudit 環境において、MylogStar Standalone Manager を利用して発生したリアルタイムアラートについては、「ダッシュボード / アラート ビュー」のアラート発生数にカウントされません。</p>

9. その他の制限事項

9.1 検索

管理番号	登録日	制限事項
P-0126	2013/10/01	各種記録の時間(ログイン時間、アクセス時間等)は、MylogStar Agentのシステム時間をベースにしています。

9.2 インストール、アンインストール

管理番号	登録日	制限事項
P-0128	2013/10/31	MylogStar製品のインストーラーを複数起動して処理を行った場合、正常に動作しません。
P-0129	2013/10/31	MylogStar製品のインストールとアンインストールは、ローカルコンピューターにおけるAdministrator権限を持つユーザー、またはグループでログインして行ってください。「別のユーザーとして実行」などの機能を用いて権限昇格を行った場合は、正常に処理できない場合があります。
P-0130	2013/10/31	別のインストール処理が実行されている間、MylogStar製品のインストールは実行できません。
P-0131	2014/01/24	Windows 8.1/10において、MylogStar Agentをインストールした後、必ずWindowsの「再起動」を行ってください。Windowsの「シャットダウン」→「起動」では、MylogStarが正しく起動しません。これは、Windows 8.1/10で標準設定となっている「高速スタートアップ」が有効となっていた場合、Windowsの「シャットダウン」を行っても、内部的に「スリープ」となってしまうため、Windowsの再起動としては処理されないためです。
P-0353	2016/11/20	MylogStar Agentをインストールする際に指定する「MylogStar Agentのインストール先」と「MylogStar Agentデータベースのインストール先」は、それぞれを同じフォルダーに配置したり、一方のフォルダーの配下にはしないでください。このようなインストール先の指定をすると、OSの起動時にエラーメッセージが表示されMylogStar Agentが正常に動作しない場合があります。
P-4004	2017/12/07	MylogStarをインストールする際には、MylogStar各製品インストーラーのファイル名は変更しないでください。
P-4012	2018/02/16	MylogStar (Relay) Serverのインストールにおいて、インストールフォルダーやデータフォルダー、データベースフォルダーのパス指定には次の注意事項があります。あらかじめご確認の上、指定を行ってください。

管理番号	登録日	制限事項
		<p>① パスの文字列長は、200 バイトまでとなります。</p> <p>② パスに次の文字は使用できません。[] % ;</p> <p>③ 指定したパスが、ローカルドライブ以外を示す場合、正常に動作できない可能性があるため、動作保証の対象外となります。</p>
P-4021	2018/03/16	<p>MylogStar ServerをWindows Server 2012 R2 以前のOSにインストールする際は、事前に「Windows での汎用の C ランタイムの更新プログラム(KB2999226)」を適用する必要があります。また、上記更新プログラムの適用には事前条件として必要となる更新プログラムがありますので、Windows Updateの適用により最新の状態でWindowsが動作する環境をご用意ください。</p>
P-4063	2018/12/04	<p>MylogStar 4 Server Release2へのアップデートにおいては、ログデータベースに格納された操作ログの件数に比例してアップデート処理に時間がかかり、その間はログ登録や閲覧を行うことができません。ログデータベースに展開された不要なログは削除し、余裕をもったスケジュールでアップデート作業を計画してください。</p> <p>当社検証環境におけるアップデート処理時間の計測結果は以下の通りです。</p> <p>---</p> <p>< 5,000ユーザー規模を想定した機材を使用した結果 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 5,000ユーザー、20日分相当の操作ログがログデータベースに格納されたケース ⇒ アップデート処理時間 :約3時間50分 <p>< 30,000ユーザー規模を想定した機材を使用した結果 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 30,000ユーザー、2日分相当の操作ログがログデータベースに格納されたケース ⇒ アップデート処理時間 :約1時間50分 <ul style="list-style-type: none"> ・ 30,000ユーザー、8日分相当の操作ログがログデータベースに格納されたケース ⇒ アップデート処理時間 :約7時間 <p>---</p> <p>※使用する機材のスペックや環境、取得された操作ログの件数や内容により処理時間は異なる場合があります。</p>
P-4066	2018/12/14	<p>MylogStar Agent のアンインストールを行った際、MylogStar Agent のインストール先フォルダー内に一部ファイルやフォルダーが削除されずに残る場合があります。</p> <p>既定のMylogStar Agent のインストール先フォルダーは以下のとおりです。</p> <p>---</p> <p>C:\Program Files\MylogStar\Agent\</p> <p>---</p> <p>アンインストール後に残ったファイルやフォルダーはOSの再起動後に手動で削除していただいで構いません。</p>
P-4068	2018/12/14	<p>MylogStar Agent のアンインストールまたはアップデート後に次のWindowsイベントログが記録される場合があります。</p> <p>---</p> <p>ソース :RestartManager</p>

管理番号	登録日	制限事項
		イベントID :10007 --- これはアンインストールされたアプリケーション、または サービスの再起動をOSが試みた時に記録されるものであり、異常ではありません。

MylogStar Cloud Limitation List

2026年3月4日 第14版発行(非売品)

著作 :RUNEXYCORP.

発行所 :株式会社ラネクシー

©2026 RUNEXYCORP.

Printed in Japan. 落丁、乱丁はお取替えいたします。

